

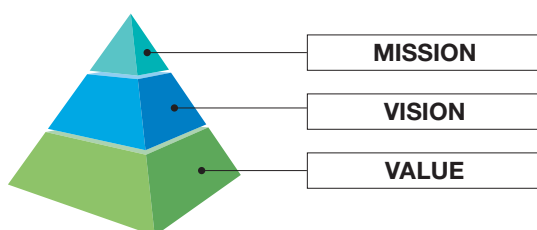


Uniqueness & Presence

VISIONの実現に向けて

三菱ガス化学グループは、オリジナリティあふれる素材や高度な技術によって社会の変革に貢献する、研究開発型の化学メーカーです。「社会と分かち合える価値の創造」をミッションに掲げ、化学会社ならではの形で、地球規模の課題解決に資する価値の創出に努めています。

MGC Way



従業員満足度*1

75%

一人ひとりの起業家精神を尊重し、独創性や先駆性に富んだ風通しの良い企業風土こそ、当社グループの価値創造の基盤であり源泉です。

*1 従業員意識アンケート結果より。対象者は出向者を除く全従業員(単体)(回答率71.9%)

MISSION

社会と分かち合える 価値の創造

最先端の電子デバイスや通信システム、石油代替エネルギー、高度医療、食料管理—。SDGs(持続可能な開発目標)達成の鍵を握るこれらの産業には、「素材」の進化、「材料」の技術が不可欠です。当社グループの製品群は、化学素材や材料の面から、産業・社会のイノベーションに深く関与しています。これからも常にミッションに掲げる使命を念頭に置きながら、社会変革を促す新素材と材料、及び技術を追求していきます。



グループ会社数

115社

様々なパートナーと連携・協創することは、グローバルで存在感を発揮する当社グループの経営基盤強化につながります。





自社開発技術による製品
(生産品目ベース)

90%以上

時代を先駆ける技術への飽くなき探究心
は、当社グループのDNA。多様な自社開
発技術は競争優位の源泉です。

VISION

化学にもとづく、特色と存在感ある エクセレントカンパニー

あらゆる産業の“米”とも称される化学は、人々の暮らしや環境保全、社会インフラなどの分野で、無限の可能性を秘めています。当社グループは、社会の変化が加速する現代において、独自の強みを追求しながら多くのグローバルニッチトップの製品群を展開。社会や顧客の課題に、他にない技術で応え続けています。「化学にもとづく、特色と存在感あるエクセレントカンパニー」というビジョンは、私たちが目指す未来のありたい姿そのものです。



世界市場トップシェア
製品数の比率

約40%

品質や特性によって競争力を持つ当社グループの製品は、世界市場でも広い分野でトップシェアを獲得しています。



連結売上高

8,134億円

社会的価値・経済的価値の両立を前提とした差別化戦略によって、環境変化に強い収益構造への転換に取り組んでいます。

私たちは、グローバル市場で「特色(Uniqueness)」と「存在感(Presence)」を発揮する事業を持続的に創出することで、世の中から選ばれ続けるエクセレントな企業グループを目指しています。

私たちが掲げる「Uniqueness & Presence」とは、社会的価値と経済的価値を両立しながらミッションを遂行する独自性のあるビジネスモデルです。より良い未来を構想し、ニーズとシーズを融合することで、市場や社会から選ばれ続ける「Uniqueness & Presence」な事業を磨いていきます。

このビジネスモデルを維持・発展させていくには、「バリュー(行動理念)」を実践する人材の活躍が欠かせません。バリューが息づく企業風土を価値創造の基盤に、独創性や先駆性に富んだ新しい価値の提案を追求していきます。

※経営資源：2023年度／2024年3月31日時点



財務資本



技術基盤



企業風土



パートナーシップ



安全文化

VALUE

行動理念

プロフェッショナル集団として

プロフェッショナルとは、信頼できる高い知識と能力、強い責任感の持ち主のこと。一人ひとりが頼りになるプロフェッショナル集団をめざします。

1. 変化を恐れぬ勇氣

現状に甘んずることなく、新しいことに挑戦し、習慣を打ち破る勇氣を持とう。周囲の変化に応じて自分を変えるだけでなく、より良い状態に向けて、自らが環境を変えるほどの強い勇氣を持とう。

2. 高い目標への挑戦

常に自分自身により高い目標を課し、その目標に挑戦する意欲を持とう。

3. 目標達成への執念

掲げた目標を達成し、成果を上げるまでは強い執念で何がなんでもやり抜こう。

4. 共感を広げるコミュニケーション

互いに信頼し目的を分かち合い、ともに協力するために、コミュニケーションの輪を広げよう。

MGC企業行動指針 サステナビリティ推進指針

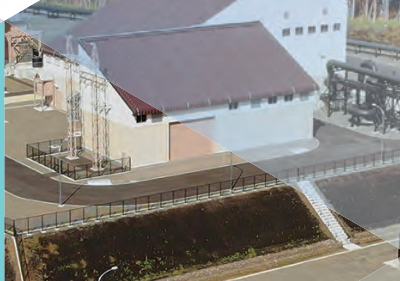


休業災害に係る度数率*2

0.00

「事業活動の最優先は安全の確保」という理念の下、レスポンシブル・ケア(RC)活動の更なる充実に取り組んでいます。

*2 延労働時間100万時間当たりの死傷者数



目次

価値創造セクション

p.1

- 1 VISIONの実現に向けて
- 4 目次
- 5 価値創造プロセス
- 7 社長メッセージ
- 11 三菱ガス化学グループの歩み
- 13 価値創造ストーリー：Uniqueness & Presence

経営戦略セクション

p.22

- 23 経営戦略の概要
- 29 目標 1：事業ポートフォリオの強靱化
- 31 目標 2：サステナビリティ経営の推進
- 33 マテリアリティ
- 35 財務戦略
- 39 リスクマネジメント
- 43 研究開発戦略
- 45 DX推進
- 47 人的資本経営の推進
- 53 事業展開と主な製品
- 55 機能化学品事業戦略
- 59 グリーン・エネルギー & ケミカル事業戦略

ガバナンスセクション

p.63

- 64 役員一覧
- 67 社外取締役座談会
- 71 コーポレート・ガバナンス
- 76 コンプライアンス

データセクション

p.77

- 77 パフォーマンスデータ
- 81 連結財務諸表
- 85 会社情報

編集方針

『MGCレポート 2024』は、中長期の成長戦略及び価値創造ストーリーに重点を置いた「統合報告書」として編集しています。本レポートの制作においては、CSR・IR部を中心に、情報を集約・共有化する全社的な体制を構築しており、様々なステークホルダーの皆様に、当社グループへの理解を深めていただけるよう、掲載内容の充実に努めています。

参考にしたガイドライン

- ・国際統合報告評議会(IIRC)「Integrated Reporting <IR>」
- ・経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」
- ・GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)提言
- ・SASB(Sustainability Accounting Standards Board)スタンダード

報告期間

2023年4月1日～2024年3月31日(2023年度)
※一部、過去及び直近のデータを記載

報告範囲

三菱ガス化学株式会社及び三菱ガス化学グループ
※報告範囲が異なる場合は対象範囲を各データに記載

発行責任者

取締役 常務執行役員 北川 元康 (CSR・IR担当)

発行

2024年8月

免責事項

本レポートに記載されている計画、目標などの将来に関する記述は、当連結会計年度末現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績などは、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。



より幅広い情報はWebサイトをご参照ください。

投資家情報



最新の財務情報から各種リリース資料、株式・株主情報を掲載しています。
<https://www.mgc.co.jp/ir/>

サステナビリティ情報



当社グループのサステナビリティに対する考え方から取り組み、各種詳細なデータを紹介しています。
<https://www.mgc.co.jp/sustainability/>

価値創造プロセス

当社グループは、2050年を見据えた社会的課題を起点に、多様な経営資源を統合して、「Uniqueness & Presence」な事業への選択と集中を加速させています。この戦略の下でサステナビリティ経営を強化し、ビジョン「化学にもとづく、特色と存在感あるエクセレントカンパニー」の実現を目指しています。2024年度は、「2030年ありたい姿」を新たに設定し、3つの解決すべき社会課題をターゲットに、差異化戦略を推進する中期経営計画「Grow UP 2026」が始動しました。





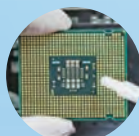
エレクトロニクス
ケミカルズ(EL薬品)



エンジニアリング
プラスチックス



光学樹脂ポリマー



BT材料

ICT・モビリティ
社会発展



ビジョン
「化学にもとづく、
特色と存在感ある
エクセレント
カンパニー」

事業を通じた
社会課題の解決
「アウトカム」

新たな時代を先導する
「アウトプット」

選択と集中を
加速する
「経営戦略」

エネルギー・
気候変動問題解決



医療・
食料問題解決



& Presence

価値を両立する
・事業の創出



メタノール



エネルギー資源・
環境事業



MXDA



脱酸素剤



MXナイロン



抗体医薬



芳香族アルデヒド



研究開発



人権

リティ経営
リティ

2030年ありたい姿

財務目標

売上高	1.2兆円
営業利益	1,200億円
営業利益率	10%以上
ROE	12%以上
ROIC*	10%以上

非財務目標

GHG排出量 **39%**以上削減
(2013年度比)

Sharebeing 売上高
(環境貢献製品売上高)
5,000億円以上

* ROIC = (営業利益 - 法人税等 +
持分法損益) ÷ 投下資本
(Grow UP 2026より定義を見直し)

➡ ご参照

社長メッセージ P7-10
経営戦略セクション P22-62

➡ ご参照

三菱ガス化学グループの歩み P11-12
事業展開と主な製品 P53-54
機能化学品事業戦略 P55-58
グリーン・エネルギー &
ケミカル事業戦略 P59-62

➡ ご参照

価値創造ストーリー：
Uniqueness & Presence P13-21